

Journal of the Japanese Society for Cultural Heritage

遺跡学研究

ISSN 1349-4031

日本遺跡学会

Japanese Society for Cultural Heritage

2022 第19号

特集

復元という遺産

研究論文

伊藤 文彦・箴島 大悟

日本における文化財「活用」概念の成立

研究ノート

禰宜田 佳男

これからの文化財行政を考えるーSDGsという視点に照らしてみてー

目次

遺跡学研究 第19号 2022

特集 復元という遺産

特集趣旨	前川 歩	1
会長挨拶	坂井 秀弥	2
基調講演		
1990年代の復元整備とその思想	田中 哲雄	3
講 演		
遺跡の復元と地域社会	若狭 徹	9
観光のまなざしから考える遺構の復元	和泉 大樹	15
事例報告		
みんなでつくる縄文ムラ ―史跡梅之木遺跡公園（山梨県北杜市）と市民ボランティア―	佐野 隆	21
パネルディスカッション		27
パネリスト：田中 哲雄・若狭 徹・和泉 大樹・佐野 隆		
コーディネーター：白崎 恵介		
コメンテーター：本中 眞		
附 論		
遺跡のプロセス・プランニング	前川 歩	45

研究論文

日本における文化財「活用」概念の成立	伊藤 文彦・箴島 大悟	51
--------------------	-------------	----

研究ノート

これからの文化財行政を考える ―SDGsという視点に照らしてみて―	棚宣田 佳男	64
-----------------------------------	--------	----

遺跡学フォーラム

SITE 04 史跡永納山城跡の復元的に整備された土塁	秋山 邦雄	73
歴史遺産を活かした国際交流への歩み	大竹 幸恵	75
『水中遺跡ハンドブック』について	芝 康次郎	79
日本災害・防災考古学会の設立について	林 正憲	83
令和3年度の史跡等の整備について	中井 將胤・小野 友記子・岩井 浩介・玉川 元気	87
遺跡雑感 03 西大寺旧境内 ―市街地に眠る大寺院―	林 正憲	8